

2025年4月1日

高千穂大学 齋藤元紀新学長が就任

高千穂大学（東京都杉並区）では、2019年より学長を務めた寺内一（てらうち はじめ）前学長の任期満了に伴い、齋藤 元紀（さいとう もとき）学長が就任いたしました。



役職名：高千穂大学 学長
氏名：齋藤 元紀（さいとう もとき）
就任日：令和7年（2025年）4月1日
任期：令和7年（2025年）4月1日～
令和10年（2028年）6月27日
学位：博士(哲学)
専門分野：哲学・倫理学

<齋藤 元紀プロフィール>

昭和43年（1968年）12月16日生まれ
56歳（令和7年（2025年）4月現在）
新潟県出身

<略歴>

昭和63年（1988年） 成城大学 経済学部 経済学科 卒業
平成14年（2002年） 法政大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程単位取得退学
平成25年（2013年） 高千穂大学 入職
平成25年（2013年） 高千穂大学 人間科学部 教授
令和4年（2022年） 高千穂大学 人間科学部 学部長
令和7年（2025年） 高千穂大学 学長（現在に至る）

2013年高千穂大学入職。大学では哲学、倫理学、現代哲学、ゼミⅠ、専門ゼミを担当。他には、早稲田大学文学学術院や法政大学大学院人文科学研究科にも兼務。主な著書に『存在の解釈学——ハイデガー『存在と時間の構造・転回・反復』法政大学出版局（2012年3月）。『デリダのハイデガー講義を読む』白水社（2023年11月）。『哲学の変換と知の越境——伝統的思考法を問い直すための手引き』法政大学出版局（2019年2月）など多数。研究分野は、存在論（ハイデガー）・現象学（フッサール）・解釈学（ディルタイ・ガダマー）・実存哲学（ニーチェ）。日本思想（和辻哲郎・九鬼周三・三木清）の研究、環境・生命・人格・テクノロジーをめぐる哲学思想の研究、哲学教育の研究と実践にも取り組んでいる。

<所属学会>

日本哲学会、日本倫理学会、実存思想協会、日本哲学プラクティス学会、ハイデガー・フォーラム、ガダマー協会など

【関連リンク】

高千穂大学 学長 齋藤 元紀 (さいとう もとぎ)

関連 URL : https://www.takachiho.jp/outline/professor/human/motoki_saitou.html

【高千穂大学について】

学 長：齋藤 元紀

所在地：東京都杉並区大宮 2 丁目 19-1

設 立：明治 36 年 (1903 年)

教育研究組織

大学:商学部/経営学部/人間科学部

大学院：経営学研究科経営学専攻